

六〇歳の定年を過ぎ、あつという間に十二年が経ちました。この夏は母が九六で亡くなり、養父も八八で五年前に他界しました。しかし、毎日の農作業があるので多忙です。それに四〇を越えた長男や長女や次女の家族が近くに住んでいるので、自由に遊ぶわけにはいきません。七〇を過ぎた今は自分の体験や考えを子供や後輩に書き残す年齢になつていきたいと思います。八〇になつても、その気力や体力が私にあれば良いのですが。私は吉井小学校から吉井中学校に入ったように、甘楽農業高校に昭和三十二年四月に入学しました。私の家は太平洋戦争で先に次男が戦死し、後に長男の私の父が戦死しました。三男が軍需工場から戻り、母と再婚しました。私が小学校一年の時でした。この養父は農業の先達的な存在で、新しい作物・農機具・栽培方法を取り入れました。しかし、売上は少なく貧しい生活でした。米麦・養蚕・葉たばこ・ヘチマ栽培などでした。私が農学校に入学したころは酪農を始めました。従つて農業教科の「畜産」や「養蚕」の授業は本気で頑張りました。その頃の私の家は春蚕八〇グラム、乳牛三頭で田が五反畑が七反でした。そして、悩みがありました。進路問題です。近所のサラリーマンは、夫が働き妻が家事で三人の子供を次々に高校へ入学させました。私の家は五人の子供の中で私だけが高校入学で、貧しい家でした。

農学校の一年が過ぎ二年生になる時、担任に進路問題で相談に行きました。私は自営クラスではなく、就職進学クラスに入りました。そして、友人二人で英語と数学の問題集に取り組みました。いつも二人で朝のうちに、担当の先生の机上に問題集を持参しました。そして、下校前に〇×を貰い指導を受けました。この方法はとっても良い勉強方法でした。友人は現役で群馬大学学芸学部合格しました。友人の合格は甘楽農高の誇りと感じました。私も進学したいと担任に相談していました。私は通信教育が良いと、卒業前の二月に法政大学経済学部経済学科に入学願書を提出しました。すると無試験で合格してテキストが沢山送られてきました。難しい本ばかりで読めない字が多く困りました。しかし、辞書を片手に何度も考えながら読みました。レポートも再提出が最初は沢山ありました。優良可の判定があり、可は最低の合格でした。一年と二年生は一般教養科目が多く、専門科目は三年四年生でした。私は経済学科だったので、実業界に弱いと感じ、商業科目を多く選択しました。途中から教職専門科目も選択しました。従つて、四年の時は東京の商業高校で教育実習をしました。この時、初めて商業高校のテキストを手にして一読しました。四年生の秋には埼玉県立神泉中学校教員採用試験の職業科を受け合格しました。卒業と同時に埼玉県児玉郡神泉村立神泉中学校に採用されました。昭和三十九年四月でした。この年の十月に東京オリピックがありました。次の年は群馬県高校教員採用試験の商業科を受け合格し、館林高校に採用されました。三年が過ぎて、転勤で次は伊勢崎商業高校に着任。三年が過ぎて、次は下仁田高校に転勤となり、商業科の設立や四階の商業棟の新築がありました。十一年勤務し、次は高崎女子校(夜間)に転勤し八年勤めました。次は前橋第二高校に転勤し、三年後に単位制高校の前橋清陵高校に校名変更と組織変更し新校舎建築があり、九年勤め定年退職しました。そして、同校で臨時職員の夜間図書館司書として九年勤めました。つまり、本採用は教員三十八年、臨時が九年で学校勤務四十七年、六十九歳まで勤めました。

今は、田んぼ八反・畑四反・植木畑八反をハンマーナイフモアー・トラクター・田植機・コンバイン・乾燥機など使つて毎日、田畑の作業や無番地の国有地の草刈りなどをしていきます。